

STRENX® 960でリア アンダーラン保護装置 (RUPD)の強度と安全 性を向上

安全性を第一に考えるなら、重量車両の保護に Strenx® 960 高強度鋼板をご検討ください。重量車両の関係する追突での致命傷のリスクを軽減するリアアンダーラン保護装置 (RUPD) 等の用途に最適な素材です。

RUPDの強度が不十分な場合、乗用車の助手席側のコンパートメントに深刻なダメージを与え、運転手や同乗者の生存のためのスペースの減少につながる恐れがあります。

統計データは死亡者数の増加を示しています。この流れを食い止めるべく、国際連合欧州経済委員会 (ECE) が2019年から2021年に実施する新規制により、トラック・トレーラーメーカーはRUPDの荷重能力を約2倍にするよう義務付けられます。

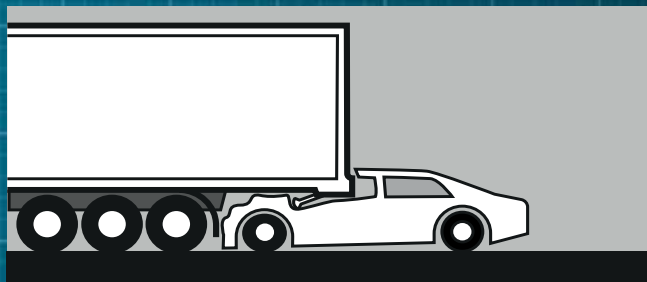
ECE規制に準拠したStrenx® 960を使用した適切な設計は、アルミニウムを使用したソリューションより優れた比強度を実現します。

より強く安全な
RUPDに適した
STRENX® 960



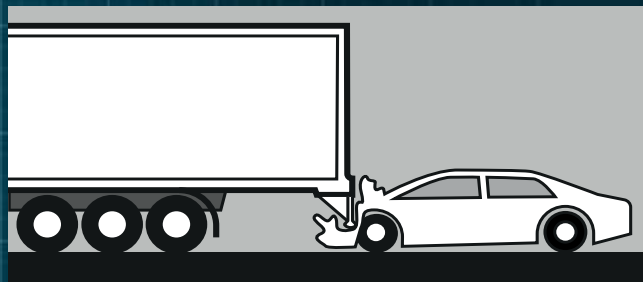
脆弱

なりアアンダーラン保護は乗用車とトラックの衝突事故におけるダメージにつながります



強力

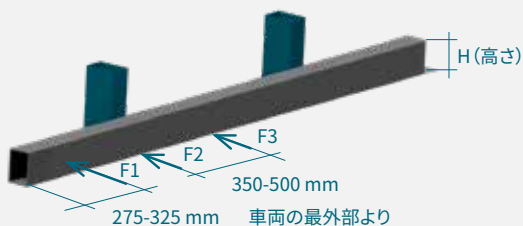
なりアアンダーラン保護は乗用車とトラックの衝突事故でのダメージを防ぎます



積載能力が高ければ高いほど、より強度のある素材が必要です

新規制の概要

- F1 100 kN (従来は 50 kN)。
- F2 180 kN (従来は 100 kN)。
- F3 RUPD の中間点で 100 kN (従来は 50 kN)。
- H 断面ビームの最小高さは 120 mm (従来は 100 mm)。



設計のパートナー

RUPD用途のStrenx® 960鋼管、薄板、鋼板に加え、SSABはより複雑な形状のための鋼管カットや鋼管レーザー切断、さらにRUPD用の各種支持構造物の切断やプレスブレーキ曲げのサービスを提供しています。

SSABはRUPD設計をお手伝いします。RUPDの性能は各種部品の素材選択、形状、厚み、支持物間の距離、各種部品の接続部の設計により左右されます。

さまざまなパラメータを組み合わせることで多数の設計が生まれます。この中からコストおよび性能面で要件を満たすものを見極めるには工学的な研究が必要です。SSABはほぼすべての工学レベルでお客様と積極的に関わり、最適なRUPDの実現をサポートします。

STRENX® 960 の利点

- より優れた重量効率
- 低コスト
- アルミニウムより環境影響が少ない*
- 優れた適応性と作業性により、さまざまな断面プロフィールが可能

STRENX® 960 薄板 & 鋼板

基準製品	板厚レンジ [mm]			準拠基準	フォーマット
	鋼板	熱間圧延帯鋼	冷間圧延帯鋼		
Strenx® 960MC	-	3-10	-	S960MC in EN 10149-2 / 衝撃試験 -40°C	薄板
Strenx® 960 Plus	-	2-8	-	S960QL in EN 10025-6 / 衝撃試験 -40°C	薄板
Strenx® 960 CR	-	-	0.7-2.1	SSAB仕様	薄板
Strenx® 960 E	4-100	-	-	S960 QL in EN 10 025-6 / 衝撃試験 -40°C	鋼板

STRENX® 960 チューブ

形状	寸法レンジ [mm]	肉厚 [mm]	ミル長さ [m]	準拠基準
円形	114.3 (244.5)	4-6	6-12/18	公差はEN 10219の要件に基づきます
正方形	100x100- 200x200	4-6	6-12/18	公差はEN 10219の要件に基づきます
長方形	120x80- 250x150	4-6	6-12/18	公差はEN 10219の要件に基づきます

*WorldAutoSteel発表の事例による。

詳しくはこちらまでお問い合わせください:
techsupport@ssab.com

SSAB